埼玉東支部
News Letter

平成 29 年
9 月号
NO.18

輝

～ KAGAYAKI ～

8月1日 OPEN
利用者大募集！
埼玉の住まい選びは
新不動産情報サイト
ハトらぶで
検索
ハトらぶは「ハトマークで住まいを選ぶ」の愛称です。

簡単操作でレインズ登録
ハトらぶはデジカメから一括で画像を取り込みレインズへ転送することができます。

無料ホームページ
新着物件情報を写真付きでいち早く告知でき、他社と差別化することができます。

会社間流通で共同仲介
草加･三郷・八潮地区の売買賃貸物件を宅建協会会員同士の仲介で物件成約を図ります。

間取図・図面作成など豊富なソフト
間取図作成ソフト・レインズ転送が可能な図面作成ソフト･はがき宛名印刷ソフトも無料。

宅建協会の新不動産情報サイト「ハトらぶ」は、従来のハトマークサイトと比較して、レインズ物件登録を補助する機能が大幅にアップしました。利用料金は月額 1,000 円（税別）で変更はございません。この機会にぜひハトらぶのご活用をお願いします。

■ 本件に関するお問い合わせ ■
宅建協会本部 企画政策課　☎048-811-1840

広報誌への広告掲載希望者募集！

毎年２回(３月･９月予定)発行される､埼玉東支部広報誌への広告掲載希望者を募集いたします。

広告スペース
（実寸大）
縦 40mm× 横 91mm

広報誌は埼玉東支部の会員約３４０社に直送便にて送付され多くの会員様が読まれます。
到着は発行月の月末となっています。
不動産業者はもちろん、不動産業にゆかりのある業者様その他、営利を目的としない生活情報等、幅広く募集いたします。
※掲載には一定の条件があります。ご確認ください。

【掲載費用】
営利を目的としない生活情報等　￥5,000（税込）
その他の掲載物　￥10,000（税込）

【発行部数】５００部
【お問合せ】支部事務局まで（048-932-6767）
※広告の製作を希望される方は別途費用が発生します。

編集後記

埼玉東支部 NEWS　LETTER「輝」第１８号をお読み下さいまして有難うございました。広報啓発委員会は今年度、三郷市、八潮市を特集記事として取り上げさせていただきます。どちらのまちも埼玉東支部内のまちです。今号ではお忙しい時間を割いてくださり、木津雅晟三郷市長から直接、お話を伺うことができました。木津市長の思いを皆様に正確にお伝えできたか危惧しています。得てしてリーダーになる方は「天上天下唯我独尊」的な部分があるやと思っていましたが、木津市長の温厚な口調からは感じられませんでした。大きなプロジェクトが目白押しの三郷市、多くの事業推進をトップ主導で行われてきたそうです。きっと多くの人を巻き込んでいく力がある市長だということだと思います。社業に立ち戻ったとき、果たして自分は社員に真摯に向き合い、皆の先頭に立ち、そして束ね、同じ目標に向かって突き進んでいるのか？不安です。次号はいよいよ八潮市を取り上げたいと思います。皆様、お楽しみにお待ちくださいね。（編集長）

支部案内

公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会　埼玉東支部
〒340-0003　埼玉県草加市稲荷 3-18-2
TEL：048-932-6767　FAX：048-932-6360

支部事務局

◆埼玉東支部ホームページ
http://www.takuken.or.jp/higashi

◆お問合せアドレス
saitamahigashi@takuken.or.jp

青年部 Facebook ページもご覧ください。

特集　こんな『まち』に住みたい。～埼玉県三郷市～

新三郷ららシティ

きらりとひかる田園都市みさと！

埼玉県の最東南部に位置する三郷市は東に江戸川、西に中川、その他に二郷半領用水、大場川と昔から水と縁の深い水田地帯だった。昭和 48 年に開通したＪＲ武蔵野線、さらには、平成 17 年のつくばエクスプレスの開通により着実に人口が増加している。また、市のほぼ中央に首都高速道路６号三郷線、東京外環自動車道、常磐自動車道の３つを結ぶ三郷インターチェンジ･三郷ジャンクションがあり、交通の要衝となっている。三郷インターＡ地区・三郷インター南部地区・三郷中央地区の土地区画整理事業、新三郷ららシティのまち開き等の大きなプロジェクトに伴い、人口も 14 万人規模となり、特に若者世代の転入が続いている。今年度には東京外環自動車道が千葉県市川市の高谷ジャンクションまで延伸される予定で、さらに利便性の高い都市として注目を浴びている。

平成 26 年、全国の 896 自治体が「消滅可能性都市」と発表され、大きな話題となった。少子化や、地方から都市への人口流出により、将来、消滅する可能性がある自治体を挙げたもので、具体的には、子どもを産む年代である 20 ～ 39 歳の女性の人口が、2010 年から 2040 年の 30 年間で 5 割以上減少する市区町村をいう。現在、人口も増加傾向にあり、市制施行 45 周年を迎えた三郷市も、今後においては、高齢化、人口、世帯数の減少 (2019 年問題) という課題を抱える。

「21 世紀は都市間競争の時代」と言われて久しい。人口問題が各自治体にとって重要になればなるほど、自治体間での人口の「取り合い」は加速していく。かつて、自治体にとって最も重要な課題は、自治体が住民のために保障しなければならない最低限度の生活水準「シビルミニマム」の確保であった。しかし、人口が減少する時代においては、自治体が「シビルミニマム」を標榜しているだけでは都市間競争に勝てない。今の行政に求められているのは「シビルマキシマム」に取って代わっている。

「シビルマキシマム」とは、個性的かつ柔軟性を持った行政運営であり、個々の自治体が「これだけは他には負けない」という分野の政策を最大限に推進すること。そして差異化戦略により、都市間競争における優位性を獲得することといわれる。人口維持あるいは増加を目指していくためには、自治体がそれぞれの地域性や空間的特徴などの個性（特色）を活かさなければならない。創意工夫を凝らした政策を行い、魅力ある自治体を実現することにより、他地域から住民を獲得することができる。住民は自分が望む行政サービスを行う自治体に住むことを望み、望まない自治体からは離れていく（引っ越していく）。より良い政策を展開している自治体には住民が集まる一方、政策形成の乏しい自治体からは流出してしまうということではないだろうか。

大都市、東京から 20 ㎞圏内に位置する三郷市であってもこの競争は他人事ではない。都市間競争に勝つためにいろいろな施策を仕掛けなければ負け組になってしまう。では、三郷市はどのような施策を展開しているのか？

まちづくりをリードする木津雅晟市長に聞いてみた。

Q1. 少子高齢化は各自治体にとって大きな問題です。若い世代を三郷市に呼び込むような施策はありますか？

三郷市では、人口が昨年 1 年間で約 1500 人増加するなど、14 万人規模のまちに成長しました。都心まで 20 ㎞圏内に三郷市が位置しているという利便性を踏まえ、近年の住宅開発による県外からの子育て世代が多く転入しているとともに、市内で産まれる新生児数も増えているところです。

一方で、高齢化率は 25.8％（平成 29 年７月１日現在）となっており、こちらも５～６年後にはピークを迎えることとなります。国立社会保障・人口問題研究所では、日本の世帯数のピークが 2019 年となるという、いわゆる 2019 年問題を指摘しており、この意味でも、いかに世帯数や生産人口の減少をくい止めていくのか、考えていかなければなりません。三郷市に転入された若い世代の方たちに定住していただくためには、子育てしやすい環境を作っていくことが重要であると考えており、そのため、民間の力を活用し、行政はその民間の力をバックアップするという形で子育て世代の応援をしています。

休日のみさと公園

また、子どもはある程度の年齢になると親の手を離れ、自立していきます。そういう時期になると、次の焦点は、親自身の生き方（ライフスタイル）や生き甲斐を充足していくことに移ります。このときに自分の生活圏内に気軽にショッピングができる場所や憩いの場所、あるいは働く場所があることは、「その街に住み続けたい」と思うモチベーションになると考えています。

三郷市では、三郷インターＡ地区・三郷インター南部地区並びに三郷中央地区の土地区画整理事業が終了し、三郷インター南部地区には物流施設を誘致し、このほか新三郷ららシティには、大規模な商業施設の誘致を行ってまいりました。特に三郷インター南部地区については、約 3,500 人の新規雇用が生まれており、市内のみならず、松戸市、流山市、野田市などから多くの方が働きに来ています。

人口増加の効果としては、税収の上昇も挙げられます。市の平成 29 年度の当初予算は約 459 億円ですが、このうち約 209 億円が市税であり、占める割合は約 46％となっています。今後とも自治体間競争に後れを取らないためにもインフラの整備を進め、自主財源を確保し、住み続けたいと思う街となるようまちづくりをしていく必要があると考えています。

三郷市指定文化財「三匹の獅子舞」

Q２. 今年、市制施行 45 周年を迎えていますが、将来の三郷市についてお考えを教えていただけますか？

常磐自動車道三郷料金所
スマートインターチェンジ

私は「きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～」という将来都市像のもと、市政に取り組んでいます。そのためには環境整備やインフラの整備は必要不可欠と考えています。三郷市は江戸川・中川という大きな河川に囲まれています。高速道路網は整備されていますが隣のまちへ行くためには必ず橋を渡ることになり、アクセス集中による渋滞を招いています。そのため、特に千葉県側との往来を容易にする手段として（仮）三郷流山橋（都市計画道路三郷流山線）の整備に力を入れています。これは常磐自動車道三郷料金所スマートインターチェンジ付近を通る江戸川に新しい橋を架け、流山市につながる地方主要道になる予定です。併せて、現在、普通自動車に限られている三郷料金所スマートインターチェンジを大型車も通行できるものに変えていくとともに、将来的には、東京方面への乗り口、東京方面からの降り口を備えるフルインター化について調査を進めています。これにより、ヒト･モノ･カネの流れをスムースにできると考えています。

昭和48年に入居が始まった「みさと団地」の高齢化も早い対応を求められています。団地で育った子どもたちが転出し、親だけが団地に残ってしまう現状が、日本各地にあるどこの団地でも見られます。しかし、「みさと団地」では、一度転出した子どもたちが、また、親元に戻り、親たちと同居、もしくは近隣に居住する、そんな姿が見られます。このようなことから、団地の建替えを含め、いろいろな解決策を今後ともＵＲ都市機構と協議していこうと思います。

また、これまで、みさとシティハーフマラソンにおけるスポーツ交流などを通じて、ギリシャ共和国との関係を築いてきました。その成果の一つとして、三郷市は、平成 28 年６月に「2020 年東京オリンピック･パラリンピック競技大会」開催に向け、ギリシャ共和国のホストタウンに登録されました。

現在、三郷インターチェンジに近接する上口調節池を活用した公認陸上競技場を建設しております。全天候舗装 400 メートル・ブルートラック・投てき対応人工芝によるインフィールドを整備、そして、公認陸上競技場としては、県内３ヶ所目となる大型映像装置を整備する予定です。そして、この競技場を活用し、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を盛り上げていきたいと思います。

Q3. どの様なシティプロモーションを行っていますか？

三郷ジャンクション航空写真

みさとの風ひろば

三郷市では 5 年毎に、18 歳以上の市民、2,000 人に対して市民意識調査を行っており、直近では平成 25 年に調査を行いました。その調査の中で 7 割の方が三郷市に住み続けたいと考えているという調査結果がありました。一方で、「三郷市のイメージ」について質問したところ、「特徴がない」が 27.3%で最も高く、次いで「田舎っぽい」25.3%、「素朴」24.3%、「便利」20.7%という結果もありました。三郷市は市民にとって住みやすく、子育てにも恵まれた環境があり、安心・安全な住環境だが、一方で「三郷市と言えば○○」という、明確で強いまちの印象がないとも捉えられているわけです 。三郷市には、高い交通利便性や大型商業施設のほか、水と緑の空間など、多くの資源や強みがあります。優れた地域資源（道路交通に便利な立地・鉄道交通の便利さ・若者の転入が続き出生数が多い等）を活用し、三郷市の良い点を市内外にアピールしていこうと考えています。

最近、市役所や文化会館などの公共施設等がドラマ・映画・CM撮影のロケ地 として使用されています。これは平成 26 年度に「三郷市ロケーションサービス」として、映像作品の撮影支援をスタートさせたもので、都内からのアクセスの良さもあって、多くの問い合わせをいただいており、作品をご覧いただいた市内外の方から大きな反響をいただいています。メディア等に多く「三郷」が紹介されることでの「郷土愛」の醸成や、将来的にはロケ地巡り等、観光資源の創出に繋がるものと考えています。また、三郷市のＰＲ動画を製作しました。ユーチューブで配信するほか、新宿や秋葉原などの屋外ビジョンやデジタルサイネージ、また東京メトロ等の車内モニターで放映しています。シティプロモーションの取り組みによって新たに生まれる三郷市の魅力や既存の地域資源について、戦略的、継続的に情報発信していくことで、良いイメージの定着を図っていきたいと思います。

市民がまちへの愛着や市民であることの誇りを育み、市外の方には まず三郷市への興味・関心を獲得し、その興味・関心を「買い物に訪れたい」「三郷で遊びたい」などの「行動・体験」に繋げ、三郷市のファンの獲得、「学びたい」「働きたい」「このまちに暮らしたい」など、三郷市が選ばれるまちとなるよう努めていこうと考えています。

Q4. 子育て世代が安心して暮らせるために、具体的な施策はありますか？

基本的には民間の力を活用するということを考えています。三郷市では、保育所といえば、従来は公立保育所がほとんどを占めておりましたが、平成 23 年以降、市内に民間保育園の参入が始まり、年々その数は増加し、現在では、待機児童の解消に一役買っていただいています。

また、三郷中央駅前では、その立地条件を活かし、民間保育園に業務委託した送迎保育をしております。これは、近年人口が急増している三郷中央地区で、満 2 歳以上のお子さんを民間保育園に設置した送迎保育ステーションに朝 8 時までに預けていただくと、そこから、入園している保育園にバスで送迎をします。入園中の保育園では午後 4 時半までお預かりし、またバスで送迎保育ステーションに戻り、午後 8 時までお預かりするというシステムになっています。また、必要とする医療を子どもたちが受けられるよう、中学校修了前までの子どもに対する医療費を無償化しています。

このほか、三郷市は「日本一の読書のまち」宣言をしています。読書は、先人の想い、人類の英知を伝えるとともに、みずみずしい感性や旺盛な好奇心を育み、より深く豊かに生きるための力となって、生涯にわたり大きな財産となります。そこで、乳幼児から高齢者までの市民のライフステージや生活環境に応じ、誰もがいつでも読書に親しみ生涯を通じて学ぶことができる読書環境の充実を図っています。

「三郷市わくわくライブラリー」（上段）
整備が進む読書環境（下段）

Q5. 三郷市は大きな河川に囲まれていますが 自然災害等に関する施策を教えてください。

三郷市は、市の東側を江戸川、西側を中川に挟まれ、これまで水害に悩まされてきた地域でありました。昭和 22 年 9 月に発生したカスリーン台風の際には、利根川と荒川の堤防の破堤により、埼玉県ばかりでなく、東京都の金町、柴又、小岩付近まで水没し、三郷市にも甚大な被害がありました。現在は国が管理する三郷放水路や三郷排水機場、埼玉県が管理する大場川上流排水機場や大場川下流排水機場を活用し、大雨時に国、県及び市が連携して、排水ポンプを運転することで河川水位の低下を図り、浸水被害の軽減に努めており、浸水はかなり少なくなってきております。

江戸川サイクリングロード

また、市の東側を流れる江戸川の河川敷に、国土交通省により大地震などの災害時に帰宅困難者や復旧物資、生活物資を船にて各方面に輸送するための荷揚げ場である「緊急用船着場」が整備されました。

現在は、江戸川の水深が浅く、大型の船舶の往来が困難な状況ですが、国土交通省により江戸川河口から松戸緊急用船着場（ 松戸市小山地先 ）までの航路については、これまでに浚渫されており、今後は三郷緊急用船着場までの航路となる部分の浚渫について実施をお願いしております。このように、河川に関する災害対策についても手を尽くしているところです。

Q6. 不動産業者との連携はありますか？

木津市長との対談風景

空家・空店舗は三郷市内でも増えています。防犯面・安全面という観点からも空家・空店舗の利用促進は欠かせません。利用者の斡旋、利用方法の提案等にご協力をお願いしたいと思っています。

平成 29 年 7 月には「三郷市空家等の適切な管理に関する条例」を施行し、「三郷市空家等対策協議会」を設立しました。

不動産業者の皆様には、その他の行政の審議会にも多くご協力いただいております。今後も市政運営にご協力をいただきますようお願いします。

Q7. 草加市・八潮市との連携についてどう思われていますか？

両市とは現在、広域的な行政課題について連携を行う、埼玉県東南部都市連絡調整会議（草加・越谷・八潮・吉川市・松伏町・三郷市）の一員として連携を図っており、昨年で 25 周年を迎えました。

この協議会では、公共施設の予約案内システム（まんまる予約）を稼働させているほか、広域の観光ポイントをめぐる、まんまるバスツアーなどを実施しており、今後も更に協力関係を強めていく必要があると感じています。

その中でも、先ずは道路網の整備はやっていかないといけないと思っています。

みさとシティハーフマラソン

トップの熱い思いと強いリーダーシップがまちを変える！

三郷市は早稲田村・彦成村・東和村の合併により誕生した。東西に大きな川があり、その市域は南北に長い。市内における経済圏・交通圏は地域によって異なる。ＪＲ武蔵野線・つくばエクスプレスの開通により、経済・交通の要衝（中心部）ができた。だが、依然として南部と北部では開発状況が異なる。南部は葛飾区、松戸市とのかかわりが深く早い時期から開発が進んできた。一方、北部はまだ田園風景が広がり、まだまだ開発の余地は大いに残っている。

平成 21 年、ＪＲ武蔵野操車場跡地に「ららシティ新三郷」が開業した。「ららぽーと新三郷」を中心としたショッピングモール、「ＩＫＥＡ」、「コストコ」等、若者に支持される大型店舗群である。三郷市だけではなく市外からも多くの買い物客が訪れる。中には他県から小旅行を楽しむかのようにこの施設を訪れる人もいると聞く。単に買い物をする場としてではなく、アミューズメントパークであり、レジャー施設として利用されている。若い子育て世代が定住してみようかと思う動機づけになりうる施設だ。土地柄、近在のまちからこれらの施設を利用するには必ずと言ってよいほど「橋」を渡らなければならないし、高速道路を利用することになる。今年度、東京外環自動車道も市川市の高谷ジャンクションまで開通する予定になっている。これにより京葉道路、東関東自動車道と通じて、千葉方面からの多くの人の往来が予想される。やはり、道路を中心としたインフラ整備は待ったなしの状況だ。

子育て世代を呼び込むには教育面での充実は不可欠だ。平成 27 年 4 月「獨協医科大学附属看護専門学校三郷校」が開校した。高等教育の場を三郷市に誘致したいという木津市長の思いから、誘致に成功したものだ。公立・私立に関わらず勉強したい、将来の夢を実現したいという思いをかなえるための場が少ない。どうしても電車等を利用して 1 時間も 2 時間もかけて他所に行かなければならない。それならば時間をかけずに教育を受けられるまちに住んだほうが良いと考える子育て世代は多い。既存の学校の充実、私立学校の誘致など教育改革も望まれるところだ。

三郷市はまだ開発されていない資源が多く残っている。この資源を効率よく利用するにはやはりトップの考え一つだと言える。木津市長は多くのプロジェクトを実現されてきた。今後も強いリーダーシップを発揮されて「人にも企業にも選ばれる魅力的なまち」三郷市の実現にご尽力賜りたい。（文：吉田良一）

三郷市市制施行４５周年記念

会員の皆様には日頃より支部運営にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回の広報誌は三郷市を特集し皆様にご案内させて頂きます。

三郷市は、今年で市制施行４５周年を迎えました。
陸の孤島と言われていた三郷市は鉄道では武蔵野線開通以来、つくばエクスプレスの開通、高速道路では三郷ＪＣＴの完成後東西南北の高速道路の開通など著しく交通網が発展してまいりました。それに合わせて、ピアラシティ、インター南部、三郷中央駅周辺の開発などで人口の流入が続いております。

５月２１日には市制施行４５周年記念式典が盛大に挙行され、当支部と致しましては三郷市長より感謝状を授与されました。

感謝状

三郷市木津市長と榎本支部長

永年にわたり三郷市公的審議会等の委員に当支部より多くの会員の皆様が出向して頂いた結果と思っております。

現在は、都市計画審議会委員、商工審議会委員、景観審議会委員、空家等対策協議会委員等に出向していただいております。

今後も三郷市並びに草加市、八潮市よりの要請に対しては積極的に協力して参ります。市制５０周年に向かって三郷市が益々発展することを祈念致します。（支部長　榎本隆雄）

要確認！ 宅建業免許更新、提出期間経過で
免許満了日の 90 日前から 30 日前まで
（協会経由：100 日前から 50 日前まで）
免許失効

宅地建物取引士証（宅地建物取引主任者証）の
有効期限は大丈夫ですか？
更新のための講習会は有効期限満了の６か月前から受講が可能です。

総合建築のエキスパート（一般建築業請負・一級建築士事務所）
有限会社 **仙成**
代表取締役　小橋　賢
〒340-0024　埼玉県草加市谷塚上町 474
TEL：048-925-1208　FAX：048-925-6287

税理士法人 Life & Company Assist
L&Cアシスト
〒340-0014
草加市住吉 1-4-12-101
代表社員税理士　長谷部健一
代表社員税理士　藤波　篤史
☎ 048-924-9244

草加駅徒歩1分
債務整理 / 不動産全般
交通事故 / 離婚 / 刑事事件など
山本達夫 法律事務所
弁護士　山本達夫
草加市高砂 2-11-7 草加駅前ビル３階
☎048-948-8822
MAIL　soka@t-yamamoto-law.com
H.P　http://t-yamamoto-law.com

～ 想いを描き 未来を築く ～
MUSASHI
ムサシ建設工業株式会社
総合建設業・一級建築士事務所

〒340-0017　埼玉県草加市吉町 5-1-2
TEL 048-928-3100 / FAX 048-928-3102
mail　musashi@mu-ken.co.jp
H P　http://www.mu-ken.co.jp

年間250件を超える相続受託件数
複雑な案件の処理
不動産売買・決済時のサポート
測量から不動産の売却までを一括で受託
民事信託スキームの構築
動産譲渡登記・債権譲渡登記の取り扱い
認知症対策
共同セミナーの開催
他士業との連携
登記だけに捉われないサービスをご提案します
草加市役所
旧本庁舎前
駐車場完備
創業100年の老舗
司法書士法人
土地家屋調査士
大久保事務所
TEL 048-924-2651
FAX 048-928-5690

WEB 版間取図作成
フリーソフト登場！
◆ご利用はこちらから
slweb.jp　検索
NihonSkills 日本スキルズ株式会社
SUPER Links WEB

人と住まいをつなぎます。
公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会 賛助会員
一般社団法人 全国賃貸不動産管理業協会 賛助会員
賃貸物件の火災保険のことならおまかせください！
宅建ファミリー共済
お問合せ・詳しい資料のご請求は
http://www.takken-fk.co.jp
03(3234)1151（平日9時～17時受付）
株式会社 宅建ファミリー共済　東京都千代田区九段北3-2-11 住友不動産九段北ビル7F

創立 50 周年記念講演会

宅建協会は創立５０周年を迎え、埼玉県宅建協会では東部・中央・西部・北部と４エリアに分けて、記念事業を開催することになり、東部エリアに属する埼葛・越谷・埼玉東の３支部合同で６月１２日に花田景子さんをお招きして記念講演会を開催させて頂きました。

会員の皆様のポスター掲示やお声がけをして頂いたおかげで、平日にもかかわらず５５０名の方々の参加を頂きました。心より感謝申し上げます。

講演会の後には３支部合同の交流会を初めて開催させていただきました。１００名近くの参加をしていただき、盛大に各地区交流がなされました。重ねて感謝申し上げます。

普通このような大イベントを開催するにあたっては、各団体の主張が強く出がちで、無用な問題が出て、それらを解決するにあたり、無駄な時間を費やす事が多々あります。しかし、今回の講演会・交流会の準備には各支部の青年部ＯＢが関わり、段取りよく進める事が出来ました。これはこの地区間で１０年にわたる青年部の交流があったからです。

将来はこの３支部での共同事業開催、会員支援事業、交流会等々をする機会が増えてくることになると思います。

埼玉東支部会員の皆様におかれましても、３支部会員とのより良い交流を深め、ビジネスチャンスに繋げて頂きたいと思いますので、今後の皆様の積極的な事業参加をよろしくお願い申し上げます。

本年も支部事業運営に皆様のご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。　（専務理事　宗像健慈）

7つの土地コンテンツで、不動産業務を
向上させる不動産専用アプリケーション
ZENRIN
ZENRIN GIS package パッケージ
不動産
1都道府県 1日単位
月額 10,000円(税別)
①住宅地図　②ブルーマップ
③用途地域 ④地価公示 ⑤地価調査 ⑥相続税路線価 ⑦固定資産税路線価
【お問い合わせ】株式会社 ゼンリン 大宮営業所 048-642-4946　ゼンリン　不動産　検索

1 OnePark
コインパーキング 用地をご紹介下さい！
仲介料　1ヶ月分
※賃貸料の1ヶ月分をお支払いいたします。
管理料 1,000円 / 1台
※20台以上の場合は別途協議
株式会社 イチネンパーキング 北関東営業所
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル 16 階
【お問い合わせ先】TEL0120-810-322 FAX0120-602-125

埼玉東支部委員会報告

総務財務兼広報啓発委員会

委員長　小川　勝

会員の皆様には、協会並びに支部の活動にご理解いただき誠に有難うございます。総財務委員会では、入会促進の為にどの様にしたら良いのか日々話し合っております。その成果も有り今年度は、７月までに５社の入会が決まりました。今後も更に入会促進に努力すると共に、会費の徴収等にも取り組んで行きたいと思っております。

それから、毎年行っております AED 講習会ですが、今年度はより幅広く防災と救急について学んで頂けるよう、消防署内と隊員の訓練などの見学を予定しております。貴重な機会ですので是非ご参加頂きたいと思います。

また、広報啓発委員会では会員の為に行政をより知ろうということで、近隣地域の取材を行い特集記事を連載しています。今後も会員に取りより有意義な情報提供を心掛けてまいりたいと思います。引き続き、委員会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

消費者相談兼法令遵守委員会

委員長　池永　幸生

今年度消費者相談委員会では、不動産無料相談所を草加市・三郷市・八潮市において３４回実施致します。７月４日に行われました不動産無料相談員研修会に参加されました相談員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。来る９月１２日には、八潮メセナホールに於きまして相隣関係と相続税及び税制改正についての宅建オープンセミナーを開催致します。会員はもとより一般消費者の皆様にも是非お声がけをして頂き大勢の皆様にご参加して頂きたいと思います。１０月と１１月には、情報提供委員会と合同で各市の市民まつり等で無料相談所を併設した不動産フェアを開催致します。こちらにもご協力をお願い致します。

法令遵守委員会では、１１月に指導員による事務所調査を実施致します。今年度対象となる会員の皆様には、ご理解ご協力をお願い致します。

政策推進委員会

委員長　森　正見

会員の皆様には、日頃より政策推進委員会の活動に対しましてご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度の事業としましては、草加市・八潮市・三郷市の行政・議会への意見提言活動、八潮市役所との意見交換会等を予定しております。

それに伴い、現在まで２回の委員会を開催し、要望書・陳情書の草案を作成しました。

今後も当委員会では、地域の活性化と不動産業界の発展に寄与できるような活動を行っていきたいと思いますので、引き続きご指導の程、よろしくお願いいたします。

業務支援委員会

委員長　五十嵐　佳之

本年度業務支援委員会委員長を務めております五十嵐佳之です。会員の皆様におかれましては当委員会への活動のご理解ご協力心より御礼申し上げます。

本年度、業務支援委員会では会員間の交流・親睦を深め、更なるビジネスネットワークの拡大を目指しております。事業と致しましては６月に青年部レディス部主催となる越谷支部・埼葛支部を招いての交流ゴルフコンペを開催させて頂きました。当日は晴天に恵まれ 34 名の参加者にたくさんの親睦と交流を楽しんでいただきました。また本年の支部旅行は、ご案内をさせていただいた通り、１１月７日（火）・８日（水）で一泊二日の京都旅行を企画しております。委員会一同皆様に喜んで頂けるような企画を練っておりますので、是非ともご参加の程よろしくお願い致します。

情報提供委員会

委員長　小勝　元貴

日頃より当委員会へのご協力をいただきありがとうございます。情報提供委員長を務めております、小勝 元貴です。現在、情報提供委員会では、ハトマーク埼玉から変更された、新情報サイト「ハトらぶ」の会員様への普及活動を主に行っております。８月１日からスタートした「ハトらぶ」は低コストにて消費者と会員を繋げる、とても便利なツールとなっています。是非、日々の不動産業務に活用頂きます様お願い申し上げます。

また、10 月末より 3 市 4 会場にて開催される各地のイベントに参加させていただきます。（10 月 22 日：やしお市民まつり /11 月 3 日：草加ふささら祭り /11 月 12 日：街グル in 草加 /11 月 18･19 日：三郷産業フェスタ）本年も、カイロ・うまい棒・ティッシュ等の無料配布や、不動産無料相談会を開催させていただき、一般消費者に有益な活動を行って参りますので、引き続き委員会へのご支援ご協力のほど宜しくお願い致します。

各地区近況及び副支部長報告

草加地区近況報告

副支部長 兼 草加地区地区長　木村忠義

会員の皆様に於かれましては、日頃より当支部の活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、暑い日が続きましたが、くれぐれもお体にはご自愛くださいますようお願い申し上げます。

早速ですが、草加地区の近況報告をさせて頂きます。平成 29 年 7 月 11 日に行われました草加地区暑気払いには大勢の会員の皆様にご参加を賜りましてありがとうございました。皆様のご協力により楽しく盛大に暑気払いが出来ました事に感謝申し上げます。また、前段ではアコス A・B 会議室での「そうかリノベーションまちづくり協議会」の説明会が行われました。協議会によると草加市と連携して草加市内、特に草加駅東口（旧町）を始めに「リノベーションまちづくり」に取り組んでいるとのことでした。「リノベーションまちづくり」とは、空き店舗や空き家といった遊休不動産に新たな機能や付加価値を加え、飲食店やモノづくり工房、創業支援施設など、新しいビジネスや交流の場を創造し、地域経済を活性化し、雇用やにぎわいを創出しようとする取り組みです。私たちが常に取り組んでいる事（事業）に変わりはありません。私たちは公益社団法人としての活動をしながらビジネスチャンスと捉え遊休不動産の掘り起しや空き情報の提供により商いに繋がればと考えます。また、そうかリノベーション協議会では不動産部会がございますので登録をして共に活動をして頂きますよう宜しくお願い致します。登録については宅建支部事務局までご一報いただければリノベーション協議会より後日ご連絡いたしますのでご理解ご協力をお願い致します。

皆さん「まるごとサポート SOKA ～草加市生活困窮者自立支援事業～」をご存知でしょうか？「失業中で家賃の支払いに困っている！」「子どもの勉強が心配だ！」「働きたいけど仕事が見つからない！」などなど・・「まるごとサポート SOKA」は相談者の状況に応じた支援を行います。例えば、住宅確保給付金や子ども学習支援、就労支援などです。皆様のお知り合いの方でお困りの方がいらっしゃるようであれば「まるごとサポート SOKA」（TEL　048-922-0185）迄ご連絡をお願い致します。これからも我々会員の業務がスムーズに行えるようこれからも皆様と一緒に考え活動してまいりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

ＰＳ，草加市の自治文化部みんなでまちづくり課より、当支部と協定を結んでいます「町会自治会加入促進」の更なる促進のお願いがございました。加入促進の主旨についてもご理解ご協力をお願い申し上げ近況報告とさせていただきます。

八潮地区近況報告

副支部長 兼 八潮地区地区長　吉田準一

八潮地区においては、八潮市都市計画南部３地区の建築物の敷地面積の最低限度１６５㎡規制緩和を求める請願を昨年の 12 月第３回定例会へ行うことなりました。その結果は、市役所より９点の指摘事項があり、２９年３月議会への継続審査となりました。３月議会に、建設水道常任委員会で審議され委員の全員賛成で採択され、本会議では、賛成多数により可決されました。２９年５月に担当課の都市デザイン部都市計画課より採択された請願に関する市の考え方について報告がありました。その内容は、今回の請願採択については、市としましても重く受け止めており、都市計画基礎調査の実施や議会への経過報告は必要であると考えております。しかしながら、南部地区の現状からは、都市計画法に規定されている見直しの必要性については、現段階ではないものと考えております。という回答がありました。

このことから、今後、八潮地区としては、請願の紹介議員や八潮地区より選出している市議会議員へこの事案について、担当課へ採択に沿った意見提言など八潮地区関係者と協力しながら進めていきたいと思います。今後、この請願について会員各位にご協力いただくことがある時は、よろしくお願い致します。

三郷地区近況報告

副支部長 兼 三郷地区地区長　鈴木邦男

三郷地区の近況ですが、市議会議員選挙の告示が 7 月 16 日にあり 7 月 23 日（日）が投票日になっております。当選枠 24 名のところ 31 名の立候補者がしのぎを削る選挙戦となります。宅建協会埼玉東支部の会員からも加藤英泉さんと逢澤圭一郎さんの 2 名が再選をめざして立候補されています。もっとも、当広報誌が皆様に配布される頃には選挙結果が出ていることと思います。

また、日本では年々人口が減っているようですが、三郷市に於きましては毎月人口が増えています。6 月 1 日現在で 139,701 人だそうで、毎月 100 人から 125 人ほど増えているとのことです。この広報誌が届く頃には 140,000 人を超えていることと思われます。新議員のもと三郷市の行政をしっかり行って頂き、人々が生活しやすく三郷市に住んでみたいと、居住者から選ばれる「まちづくり」をお願いしたいものです。

エリア情報（草加・八潮・三郷）

各エリアの最新情報や気になる情報を担当委員がお伝えするコーナーです

音楽のまち『草加』

Soka

草加市といえば“せんべいの街”が有名だが「音楽のまち」でもある。
昭和63年11月、市制施行30周年記念事業の一環として草加市歌「思いではいつも」を制定した後、平成5年6月には「音楽都市」を宣言しました。
昭和63年から行なわれている「音楽のミニコンサート」では、“まちのあちこちから音楽が聞こえてくる”まちづくりを目指し、市内各地でコンサートを開催しています。
また、毎年恒例となっているハープの祭典「国際ハープフェスティバル」が11月下旬に開催されるなど草加市民音楽祭・草加市民吹奏楽団・草加ジュニアオーケストラ等、様々なイベントを行ったり各種団体が音楽活動に力を注いでいるところです。
これからも『音楽のまち　草加』として子どもから高齢者まで世代を超えて市民が音楽を親しめるまちであることを望んでいます。　（草加地区担当　永堀　直樹）

川に抱かれて『八潮』

Yashio

今回は、ご当地ソング＆ミュージックをテーマに八潮地区からは、『川に抱かれて』を紹介させて頂きます。平成４年に市政施行２０周年を記念して、八潮市の姿をイメージソングに託し、広く市の内外に知っていただくため、八潮市の歌「川に抱かれて」ができました。作詞・作曲は、小椋　佳先生です。
以下は、当時行われた市の歌発表記念コンサートによせて小椋　佳先生のメッセージ（抜粋）です。
「八潮市の歌のお話を頂いて最初悩みましたが、お話しを伺うにつれて、いい所だな、それと、もっといいまちになるといいなという気持ちが深くなりました。水辺を近くに持つまちということで、大きな海へ注いでいく川、しかもその川に囲まれて存在するまちのイメージが段々とわいてきました。私なりにいい歌が出来たなと思っています。この歌が命を持つかどうかというのは正に八潮市の皆さんに歌って頂いて愛して頂くということが何よりです。今度、八潮市をぶらっとおじゃました際にどなたかが、この「川に抱かれて」を歌ってくださったらほんとうに幸せだなと思います。」
以来、脈々とこの歌は、市民に歌いつながれています。　（八潮地区担当　林　雄一）

夏の定番は『三郷音頭』

Misato

夏といえば、夏祭り、盆踊り、花火大会、夏の甲子園（個人的に）などなど、大人から子どもたちまで広く楽しむイベントが盛りだくさん。その中でも地域の盆踊りはあちらこちらで行われています。
三郷市での盆踊り会場では、なんといっても『三郷音頭』ですね～♪。
盆踊りはやはり地域限定、地域ならではですね。『はあ～三郷音頭は・・・♪』小さい頃からよく聴いていて一番印象に残っています。勿論メジャーな『東京音頭』や『ソーラン節』、子どもたちに人気の『ドラえもん音頭』や『アラレちゃん音頭』さらには『マツケンサンバⅡ音頭』なども全国各地で親しまれていますね。
近年三郷市では、三郷中央駅前のにおどり公園で『ＢＩＧ盆（におどり公園大盆踊り大会）』が行われ、新たな賑わいのなかでおなじみの『三郷音頭』は市民に愛着を持っていただけるのではないかと思います。
（三郷地区担当　小島　一茂）

新規入会業者及び退会業者

埼玉東支部会員数　335社
（平成29年7月現在）
草加170社・八潮71社・三郷94社

新規入会業者

（株）ライフポータル
代表取締役　島田　良太
草加市高砂2-4-13-1階
（草加1班）
TEL：048-933-9335
FAX：048-933-9336

（株）湘南ハウジング
代表取締役　齊藤　義靖
草加市弁天6-21-1 大澤ビル3階
（松原2班）
TEL：048-951-0913
FAX：048-951-0913

（株）ハナインターナショナル 草加駅前店
代表取締役　姜　景棹
草加市高砂2-5-5 3F
（草加2班）
TEL：048-929-7200
FAX：048-929-7201

（株）草加松原住建
代表取締役　後藤　紀幸
草加市金明町263-3パルファン101号室
（新田3班）
TEL：048-933-6655
FAX：048-933-6656

（有）八潮土建
代表取締役　橋本　徹眞
八潮市八條2820-12
（八潮1班）
TEL：048-996-5511
FAX：048-996-5000

（株）Ｉ＆ＥＡ八潮
代表取締役　小倉　聖彦
八潮市大原497-1
（八潮6班）
TEL：048-954-6400
FAX：048-954-6454

大土建工業（株）
代表取締役　大西　竜市
草加市八幡町745-1
（松原2班）
TEL：048-933-5555
FAX：048-933-6666

（株）ビーンズ
代表取締役　福田　誠一
草加市瀬崎2-50-30
（谷塚3班）
TEL：048-928-8220
FAX：048-928-0382

（株）　ＡＪＣ
代表取締役　全　蘭花
草加市長栄3-34-12
（新田2班）
TEL：048-999-5186
FAX：048-999-5186

インテルホーム（株）
代表取締役　漆田　優子
草加市谷塚1-2-43-206
（谷塚3班）
TEL：048-951-2039
FAX：048-951-2038

（株）オクタ 三郷店
代表取締役　山本　拓巳
三郷市早稲田1-17-4
（三郷6班）
TEL：048-957-5600
FAX：048-957-6009

（株）第一住創 草加営業所
代表取締役　深谷　十三
草加市高砂2-6-20
（草加2班）
TEL：048-954-6025
FAX：048-954-6025

（株）ディーエスコーポレーション
代表取締役　大塚　恵子
草加市清門3-43-6-205
（新田2班）
TEL：048-951-1310
FAX：048-951-1330

一建設（株） 八潮営業所
代表取締役　堀口　忠美
八潮市大瀬3-3-24
（八潮4班）
TEL：048-994-5650
FAX：048-997-8611

（株）イイ部屋探し
代表取締役　加藤　順平
草加市栄町3-4-12
（松原1班）
TEL：048-935-8621
FAX：048-935-8622

退会業者

(有)松井商事・丸石商事不動産・小林工務店・りそう不動産(株)・(有)アークスホーム・(有)西部住宅・(株)ビーンズ
(有)オークリエイト・(有)阿部工務店・(株)ダック建築工房・丸昌不動産・大一開発(株)・(有)共進建設・清水仲介センター
(有)栄産業・(株)篠宮工務店・太田屋商事(株)・パークフィールドサービス(株)・(株)織田・サイズ